

き い ふ



第42号

平塚市中央図書館 〒254-0041 平塚市浅間町12-41 TEL 0463(31)0415
 平塚市北図書館 〒254-0013 平塚市田村5155-1 TEL 0463(53)1232
 平塚市西図書館 〒254-0911 平塚市山下760-3 TEL 0463(36)3555
 平塚市南図書館 〒254-0813 平塚市袖ヶ浜20-1 TEL 0463(21)3080

平成12年4月から移動図書館あおぞら号が
 真土小学校と大野公民館へ参ります！
 ぜひ、ご利用ください

《運行時間》

★真土小学校

水曜日(2週間に1度) 午後3時～4時。

ただし、夏季期間(8/2、8/16、8/30)は、
 午前11時20分～12時です。

あおぞら号がくるよー



《運行時間》

★大野公民館

木曜日(2週間に1度) 午後1時～2時15分。

ただし、夏季期間(8/3、8/17、8/31)は、
 午前9時30分～10時10分です。

雨の日もくるよー



◆運行日程

月 ステーション名	4月	5月	6月	7月
真土小学校	12日、26日	10日、24日	7日、21日	5日、19日
大野公民館	13日、27日	11日、25日	8日、22日	6日

一真土の昔一

真土事件の概略

明治11年(1878)10月26日夜、秋雨の降りしきるなか、大住郡真土村で農民冠弥右衛門(数え年35歳)ら26人が戸長・松木長右衛門(数え年33歳)の屋敷を襲撃し、長右衛門ら家族と雇人7人を殺害し4人を負傷させ家に放火した。これが「真土事件」あるいは「真土騒動」と呼ばれている出来事である。

この事件の原因は旧幕時代からの質地慣行に由来している。この慣行では土地の質入は質置主の同意にもとづかない限り所有権の移転を伴わないことになっていた。つまり質入地はいつでも質取主から請戻すことができた。ところが明治5年(1872)の壬申地券の交付事業とその翌年の地所質入書規則により質地による土地移動の地券は質取主の名義となっていた。

当時、松木に土地を質入していたものは65人であった。明治6年、地券の名請にあたり松木は村吏等の立会保証のもとで、元金を返済すればいつでも土地を請戻しすることを約束した。しかし、地租改正事業の進展のなかで松木は区長兼戸長の役職を利用し冠らの印鑑を預り、自分で連署して地引帳を作成し質地を自分の名義にした。これを知った冠らは土地の請戻しを求めた。

冠ら65人は、要求に応じない松木を相手どって明治9年(1876)11月15日横浜裁判所に土地の請戻しの提訴をし、翌10年4月18日に勝訴した。しかし、これに対して松木は明治11年(1878)6月東京上等裁判所に控訴し、同年9月30日今度は松木側が勝訴し、冠らの土地請戻しは認められなかったと同時に、さらに松木は3年間の小作料と訴訟費の取り立て請求の訴えを小田原裁判所におこし、その判決を得て支払いを迫った。この当時ヤンレー節の変え唄が流行したが、これは質置主たちの怨嗟の唄である。

「こんどサーエー、所は相模の真土村で、音に聞えし松木というは、人の田畑にわが名をつけて、これも私のおかみへ知らせ、情心は小しもなくて、やるが嫌いで取るのが好きよ、それにつけても今度の出入り、人の怨みにその身の末を、すこしや思えよ、ねじくれ松よ、ヤンレー……」

11月18日冠ら4人は司法省への駆け込み訴えを計画し、上京するが結局23日帰郷する。そして、村民たちはもはや松木を倒す以外に生残る道はないと考え、大工・伊藤音五郎(数え年34歳。松木邸の普請をしたので邸内の様子について熟知しており、義侠心と腕前を見込まれる。襲撃時に丸木をくりぬいた木砲をつくり人頭大の石を弾丸とし火薬で発射した。その後「食道楽」の著者で有名な村井弦斎の家・対岳楼を平塚町に建築)と医師・伊藤元良を仲間に加え11月26日夜、襲撃・放火した。

翌日から小田原、藤沢両警察らによる取り調べが始まり、冠ら31人が横浜へ護送された。彼らが護送される道筋では村民たちが土下座して見送ったという。このことは長谷川伸の『ある市井の徒』のなかに書かれている。

また一方では、冠らに対する滅刑嘆願書による救命運動が県下にひろがり、翌12年ま

でに15000人の署名が集まった。

明治13年(1880)5月20日横浜裁判所において、冠弥右衛門、伊藤音五郎、伊藤佐次兵衛、伊藤元良の4人を斬罪(死刑)、8人に懲役10年、14人に懲役3年の判決が下った。しかし時の県令・野村靖が中心となり政府への助命嘆願運動が実り6月1日斬刑の4人は、県令からの呼び出しを受け、死一等を減じ懲役終身とする旨言い渡された。その後明治23年(1890)2月11日憲法発布による特赦により全員放免された。

この事件を題材にした作品には、武田交來の「冠松真上夜暴動」(錦寿堂 6冊合巻 明治19年9月刊)や、泉鏡花の処女作「冠弥左衛門」(明治25年10月より京都日出新聞に40回連載)などがある。

(参考文献)

「大野誌」	平塚市教育委員会	1958年
「平塚市史」5 資料編 近代(1)	平塚市	1987年
「神奈川県史」通史編4 近代・現代(1)	神奈川県	1980年
「平塚 ゆかりの文人たち」 井上弘／著	門土社総合出版	1993年
「かながわ風土記」第11号 昭和53年6月	丸井図書出版	1978年
「西さがみ庶民史録」第3号	西さがみ庶民史録の会	1983年
「西さがみ庶民史録」第19号	西さがみ庶民史録の会	1988年



武田交來『冠松真上夜暴動』

図書館がホームページを開設しました

利用案内をはじめ、図書館に関する情報が満載です。

URL (ホームページアドレス) は、

www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/library/

です。ぜひご覧ください。



☆書庫探訪☆ 第18回

「古代オリンピックーその競技と文化ー」

M.アンドロニコス〈ほか〉著
成田十次郎／水田徹 訳 講談社



古代ギリシアにおいて競技心とスポーツの理想とが人類史上はじめて、社会の中心的位置を占めた。スポーツは人間の精神的、知的能力の育成と関連していた。本書は古代ギリシアにおけるスポーツの歴史と意味とを体系的に著し、オリンピック競技の歴史にくまなく解明の光を当てている。

修理の達人



Q: もしも借りた本を汚したり、壊したときはどうしたらいいんですか?

A: 比較的軽い汚れやページのは、図書館の側で修繕し、再び貸出用に利用します。しかし、水につけてしまい文字が読めなくなったり、犬などに噛まれて大幅なページの損傷があった場合は、利用者の方に基本的に現物の弁償をお願いしています。

借りていた本を紛失してしまった場合も同様です。借りていた本がわからなくなってしまった場合は、各館で確認するか電話でお問い合わせください。

弁償する本が現在出版されていない場合は、同内容、同程度の金額の本でも受け付けています。くれぐれも借りた本の管理には気をつけてください。

Library staff signature

○利用統計

個人貸出状況 (平成 11 年 4 月～平成 12 年 1 月)

区 分	中央図書館	北図書館	西図書館	南図書館	自動車文庫	合 計
入館者数 (人)	354 277	145 302	184 643	109 132	—	793 354
貸出点数 (点)	463 712	194 037	335 732	328 742	39 458	1 361 681
登録者数 (人)	54 808	10 842	10 842	8 882	5 948	96 073

○資料統計

蔵書数 (平成 12 年 1 月末現在)

	中央図書館	北図書館	西図書館	南図書館	自動車文庫	合 計
図 書 (冊)	312 414	122 607	142 664	103 658	40 752	722 095
うち児童書 (冊)	57, 882	41, 800	62 700	37, 652	18 637	218 671

視聴覚資料 (平成 12 年 1 月末現在)

16ミリ映画フィルム	609
CD (コンパクトディスク)	18, 727
ビデオテープ	17, 976
LD (レーザーディスク)	1, 501



編集後記

長いこと休館して皆さんにご迷惑をおかけしました、特別整理期間も終わりました。この期間、いわゆる「店卸し」のようなことをするのですが、実はかなりクセモノです。一冊一冊バーコードを携帯用の機械によりみこませていくので、腕と腰にかなり負担が…。一年間で最も図書館員の体力が問われる期間でもあるのです!?